

## 平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果の概要と今後の方策

今年度4月17日(火)に全国の小学校第6学年を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」の本校の結果と対策についてお伝えします。「5年生までに学習した国語・算数・理科の知識とその活用に関する調査」と「学校や家庭での勉強や生活の様子についてのアンケート調査」がありました。本校の今後の教育活動に役立てていきたいと思えます。ご家庭でもお子さんへの声かけの参考としていただければ幸いです。

## ☆学力調査の分析と対策

## 国語

- 文の中の正しい漢字を使うことが、できていました。
  - 慣用句「心を打たれる」の意味と使い方や敬語の使い方が、できていました。
  - 主語と述語との関係などに注意して文を正しく書くことが、できていました。
  - 「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」ことが苦手です。
- 〈対策〉
- ・相手の話をよく聞いて自分の考えと比べ、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理し、自分の考えをまとめられるよう指導していきます。
  - ・読むことについて、授業で叙述にもとづいて読むことを指導していきます。

## 算数

- 「小数の除法の意味について理解している」「異種の2つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している」「分度器の目盛りを読み、180度よりも大きい角の大きさを求める」問題は、できていました。
  - 「わる数が小数である場合の針金1mの重さを求める式を選ぶ」「2つの場所の混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ」問題が苦手です。
- 〈対策〉
- ・計算や割合については、問題や計算式の意味を理解しながら、習熟を図るようにしていきます。
  - ・考える力の向上を図るために、考え方を記述したり、説明したりする機会を設定していきます。

## 理科

- 「人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ」問題ができていました。
  - 「物に水を溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる」「上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の川の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の関係について言えることを選ぶ」の科学的な思考・表現の問題は、苦手です。
- 〈対策〉
- ・物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを理解したり、観察や実験で複数の情報を関係付けながら分析し、正しく考察したりするように指導していきます。

○・よくできていた点 ●・課題のある点

## ☆学校や家庭での勉強や生活の様子についてのアンケート結果と対策

- 「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標をもっている」ことが分かりました。
  - 地域の行事によく参加していて、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えていることが分かりました。
  - 算数の勉強が好きであるなど、授業、宿題、予習・復習などの学習に意欲的に取り組んでいます。
  - 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える意識が不足しています。
- 〈対策〉
- ・今後も、子どもたちの学習への意欲的な取り組みを励ましていきます。
  - ・今後も、授業などで子どもたちが地域の人と関わる機会を大切にしていきます。
  - ・学習したことを普段の生活の中に活用していくことを意識させながら授業をしていきます。

○・継続していきたい点 ●・課題のある点